

社寺名 伊佐爾波神社 (松山市桜谷町 173)

奉納者 いでうえ じょうざえもん えんしん
井手上丈左衛門 (燕信)

奉納年 嘉永3年 (1850年)

解説 《愛媛県指定有形民俗文化財》

県内の算額で唯一、等脚台形を扱った珍しい問題である。

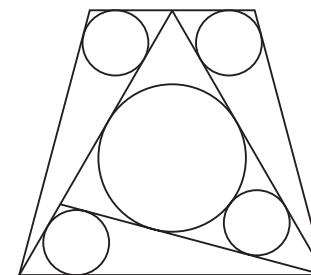
嘉永3年 (1850) 正月には、師山崎喜右衛門 (昌龍) が算額を奉納し、その後、門下生 7 人が次々に異なったタイプの問題で奉納している。そのためか、それら全て難問である。

算額は、縦 2 枚板を貼り合わせ、縁取りは朱で、囿、字体は同じ書体で書かれているので、同一の専門業者に作らせたと思われる。特に、額縁は堅牢に作られ、塗りもしっかりしているため、現在もひずみがなく残っている。

なお、奉納者の経歴は不明である。

問題文

図のように、等脚台形内にある正三角形を線分によって分け、その間に、異円 1 個と同円 4 個を内接させる。異円の直径の長さが与えられたとき、等脚台形の上辺の長さを求めよ。



名極加二箇倍之
三段自乘之寄左
寄左相消得開方
與一箇差及三角
乘異圓徑得上頭
合問

今有如圖梯形內容三角其內設斜
其上載異圓其交罅容同圓四箇只
云異圓徑若干問得上頭術如何

嘉永三戌季
夏五月吉日
關
山崎昌龍門人
井手上丈左衛門
燕信
印